

令和6年1月25日(木曜日)

建設通信新聞

岸田首相

きょう取りまとめ

地能登半島震

支援パッケージ



岸田文雄首相は24日、衆参両院が同日に開いた予算委員会の能登半島地震に関する集

中審議で答弁し、政府として「被災者の生活と生業（なりわい）支援のためのパッケージ」を25日に取りまとめることを明らかにした。インフラやライフラインの復旧に向けた施策を盛り込む。

参院予算委員会では、自民党の足立敏之参院議員が岸田首相、松村祥史防災担当相、齊藤健一鉄道・国土交通相、斎藤健経済産業相に対し、被災地の復旧・復興に向けたインフラ整備、2次避難の考え方、日本海の津波対策、北陸電力志賀原子力発電所の状況、復興まちづくりの進め方などについて質問した足立参院議員（右の下から2人目）と答弁した岸田首相

会の能登半島地震に関する集

中審議で答弁し、政府として「被災者の生活と生業（なりわい）支援のためのパッケージ」を25日に取りまとめるこ

とを明瞭化した。

政府として取りまとめるこ

とを予定している」と述べ、

その内容として、△被災者の住まい確保など生活の再建△農林水産業、観光業、伝統産業を含めた中小企業などの生

業再建△インフラやライフラ

インの復旧――の三つを挙げた。

いて質問した。

足立参院議員の質問に岸田首相は「明日にはパッケージ

を政府として取りまとめるこ

とを予定している」と述べ、

その内容として、△被災者の住まい確保など生活の再建△農林水産業、観光業、伝統産業を含めた中小企業などの生

業再建△インフラやライフラ

インの復旧――の三つを挙げた。

また、パッケージは必要な支援策の初弾であるとの認識を示し、「パッケージにどまらず、これからも中長期的な取り組みを用意し、支えていかなければならない」と答

えた。

防災・減災、国土強靭化にも言及。能登半島地震を受け「防災・減災、国土強靭化の取り組みの重要性を改めて感じている」とし、「防災・減災、国土強靭化のための

5か年加速化対策を推進することは当然のことだが、5か年加速化対策後も昨年7月に策定した国土強靭化基本計画に基づいて、取り組みを進めたい」と力を込めた。

日刊建設工業新聞

令和6年1月25日(木曜日)

見通し示し計画的に

岸田首相、復旧・復興で

衆参両院で能登半島地震に関する閉会中審査が24日に行われ、岸田文雄首相がインフラやライフラインの復旧・復興に向け「不安を抱える多くの方々に寄り添う意味でも、計画的に進めていく、見通しを示していくことも重要」との考えを示した。政府は25日に生活・なりわい再建や災害復旧の支援パッケージを策定予定。それに加え「中長期的な取り組みを用意し支えて

いく」と話した。

参院予算委員会で復旧・復興への政府の姿勢を質問した自民党の足立敏之参院議員への答弁。岸田首相は

「財政面の支援を手厚く行っていくことに合わせ、マンパワーなど実行面での支援にも取り組んでいかなければならぬ」と強調。「防災・減災、国土強靭化の取り組みの重要性も改めて感じている」とも話し、5か年加速化対策を着実に推進し、同対策終了後も国土強靭化基本計画に基づき取り組む決意も表明した。

建設新聞

令和6年1月25日(木曜日)

被災地訪問終え岸田首相

強靭化への思い強める

能登半島 地震

岸田文雄首相は24日に開かれた参議院予算委員会で、能登半島地震の被災地訪問について「防災・減災、国土強靭化の取り組みの重要性を改めて感じている」と振り返った。併せて、5か年加速化計画の実施を進めて被害の甚大さ、威力の

新たな取り組みを進める必要性にも言及。さらなる強靭化への思いを強くした。足立敏之議員の質問に答えた。

岸田首相は、14日に現地を訪問し、避難所の生活環境や被害状況を確認した。「大規模な土砂災害で寸断された道路や海底の隆起によって風景が一変した海岸の状況でいくために、予備費の増額や激甚災害あるいは非常災害の指定などを行

り返った。「復興・復旧が進んでいくために、予備費の増額や激甚災害あるいは非常災害の指定などを行

つて、財政面での支援を手厚くしていく併せて、マンパワーなど実行面で、それぞれの事情に寄り添った、きめ細やかな対応が必要であることを強く実感した」ともし

た。

今後の対応について

は、「復興・復旧が進ん

だいくために、予備費の

ある」と述べた。

その上で、「あす(25

日)には、生活生産支援

つかり示していく必要がある」と述べた。

に進めていく見通しをし

た。

建設、インフラやライフ

インの復旧に取り組んで

いる。パッケージにとど

まらず中長期的な取

り組みも用意する」とし

光、伝統産業を含めた、

足立議員は、避難の長

期化に向けた

生産再建に向けた政策パッ

ケージ、日本

海における津

波への対応

避難、生活や

街並み再生に

向けた取り組

み、道路の復

旧や土砂災害

対策における

国による権限

代行などにつ

いて質問した。



穴水町川尻地内での、向出組（石川県加賀市）による道路啓聞作業（10～11日／全国建設業協会提供）



【参議院予算委】あすパッケージまとめ／足立議員が岸田総理に見解

参議院予算委員会は24日、令和6年能登半島地震等に関する集中審議が行われ、自由民主党の足立敏之議員が質問に立った。岸田文雄内閣総理大臣は、復旧・復興の見通しを示していくことが重要との考えを示すとともに、生活と生業支援のためのパッケージを明日（25日）にはとりまとめるとした。国土強靭化は重要性を改めて感じたとし、5か年加速化対策後も取り組みを進めるとした。

足立議員は、地震発生からの現地の状況や対応などについて説明するとともに、現地を訪問した岸田総理に、どのように感じたのか、復旧・復興に向けての考え方、今後の防災・減災、国土強靭化をさらに進めるなどインフラ整備への見解を聞いた。



質問する足立議員

岸田総理は大規模な土砂

災害によって寸断された道路、隆起した海岸部などの状況を目の当たりにし「改めて被害の甚大きさ、地震の威力の大きさを痛感した」。また、避難所で避難者からの声を聞き「避難者の状況、立場がさまざま。支援もそれぞれの事情に応じた、きめ細やかな対応が必要だと強く感じた」と答えた。



答弁する岸田総理

復旧・復興を進めるため、予備費の増額や激甚災害や非常災害の指定を行っており「財政面の支援を手厚く行うことと併せて、マンパワーなど実行面での支援。不安を抱えている方々に寄り添うという意味からも復旧・復興を計画的に進めていく見通しをしっかり示していくことも重要」とした。

また、生活と生業支援のためのパッケージについては「明日には政府としてとりまとめる予定となっている。その中で住まいの確保や、生活再建、農林水産業、観光、伝統産業を含めた中小企業の生業の再建、インフラやライフラインの復旧といったものに取り組んでいきたい。パッケージにとどまらず、中長期的な取り組みを用意し、支えていかなければならない」との考えを示した。

防災・減災、国土強靭化の取り組みの重要性も改めて感じているとし「5か年加速化計画は着実に推進する。これは当然のこと。5か年計画後についても昨年7月に策定した国土強靭化基本計画に基づき取り組みを進めていきたい」と話した。